

第17回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会確認事項

1 競技規則等確認事項

- (1) 本大会は、2019年度公益財団法人日本バレーボール協会制定の6人制競技規則並びに国内競技会実施要項に基づいて行う。但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。
- (2) 第1試合の開始時間は、以下のとおりとする。
岐阜メモリアルセンター
 で愛ドーム・ふれ愛ドーム 9:00 試合開始 (プロトコール8:54)
OKB ぎふ清流アリーナ 9:00 試合開始 (プロトコール8:54)
岐阜県福祉友愛アリーナ ○:○○※調整中
2試合目以降は前の試合の終了後、ネット・コート点検を実施し競技委員の許可が出てから、合同練習5分間の後にプロトコールに入る(追い込み方式)。
連続して試合がある場合には、休憩10分後に合同練習とし、その後にプロトコールに入る。
- (3) 全試合にマッチ・ナンバーが付けてある。
- (4) 試合中のベンチにはエントリーした者が入る。
競技場内(コートが整備されているフロア)への入場は、参加申込書に記載した者とする。
- (5) 試合開始前及び試合終了後の挨拶は、登録されている選手全員で行う。
- (6) 男子・女子ともにリーグ戦のラインジャッジ4名(ベンチ入りしている高学年の選手)、点示4名は出場チームで行うこととする。割当を確認の上、当該試合プロトコール開始時刻の5分前にはコート記録席に集合すること。服装についてはチームで統一されたユニフォームが望ましいが、気温などに考慮したものとする。点示で団員が不足する場合は、チームスタッフ、保護者にて対応する。
- (7) 参加団員の変更及びプログラムの誤り等があれば、3月27日(金)の指導者会議の際に提出し、競技委員長から承認をとること。

2 競技方法

<女子>

- (1) 各都道府県47チームに開催県の1チームを加えた48チームにて、リーグ戦形式・トーナメント形式にて実施する。
- (2) 競技1日目は以下のとおり実施する。
①各組3チーム、計16組のリーグ戦を行う。各組の組合せは、47都道府県を9つの地域*1に分け、同じ組で同地域の都道府県が対戦しないこととする。
※1 北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州
- (3) 競技2日目は以下のとおり実施する。
①各組3チーム、計16組のリーグ戦を行う。
②各組の組合せは、競技1日目と異なる組合せとし、競技1日目の各組の1位チ

ームとそれぞれ別の組の2位チーム、3位チームが対戦する。

③競技3日目の実施方法に合わせ、競技2日目の計16組を4組ずつA～Dのブロック※2に分ける。

※2 A：1～4組、B：5～8組、C：9～12組、D：13～16組

④競技2日目の各組の1位チームが、上記③で示した競技3日目のA～Dのブロック別の決勝トーナメントに進出する。

(4) 競技3日目は以下のとおり実施する。

①競技2日目の各組1位チームによるA～Dのブロック別の決勝トーナメントを行う。

②ブロック別の決勝トーナメントは、準決勝2試合及び決勝1試合のみ行う。

③各ブロックの1位チーム同士による順位決定戦は行わず、各ブロックの1位(計4チーム)を優勝とし3位決定戦は行わない。

(5) リーグ戦は、8コートで行い、2組で1コートを使用する。

<男子>

(1) 各ブロック代表9チームに、開催県の1チームを加えた10チームを2組に分け、各組5チームによるリーグ戦を行う。

(2) 競技1日目は、各組6試合目までを行い、2日目に各組残りの4試合を行う。

(3) 各組の1位チーム同士による順位決定戦は行わず、各組の1位(計2チーム)を優勝とし3位決定戦は行わない。

(4) リーグ戦は、2コートで行い、各組それぞれ1コートを使用する。

3 その他

(1) 開会式・閉会式では、チームの「応援幕」及び「のぼり」などの掲出は、一切できない。

(2) 試合会場では、試合該当チームのみが「応援幕」を1枚掲出することができるが、試合終了後は直ちに撤去しなければならない。また、掲出形態や応援幕の大きさは会場の規定により制限される場合がある。(応援幕の大きさは縦70cm、横5m以内とする。)ただし、個人名が記されているものは認めない。

※チームの「応援幕」を掲出する際は、ガムテープなど粘着テープの使用は認めない。必ずロープ・ひもを使用して手すりに固定すること。また、大会関係掲示幕やコート表示板等を覆うことがないように注意をすること。

(3) 試合会場では、試合該当チームのみが「のぼり」を立てることができるが、試合終了後は直ちに撤去し、他のチームの迷惑にならないようにすること。ただし、個人名が記されているものは認めない。

※チームの「のぼり」を立てる際は、ガムテープなど粘着テープの使用は認めない。必ずロープ・ひもを使用して固定すること。また、観戦者の視界を遮ることのないように観覧席の最後部に立てること。

(4) 応援について音の出る物での応援は一切禁止する。また、メガホンの使用も禁止する。応援は肉声と拍手だけの応援とする。

- (5) 試合会場では、ストロボ等を使用しての写真撮影は、禁止とする。
- (6) 都道府県を PR する特産品、マスコット等は開・閉会式及び競技場内での使用は許可しない。なお、試合会場では、当該チームが指定された応援席でのみ、使用することができる。
- (7) 応援者へのマナー遵守の徹底は、監督から行うこと。
- (8) ベンチには、競技に必要な飲料水、タオル、応急処置用具など以外の競技に必要な物品は持ち込みを許可しない。選手やベンチスタッフは、吸引式のボトルを使用することとし、ペットボトルでの給水は禁止する。スマホやカメラなどの貴重品は、小さめのバッグやリュックの中にしまい、取り出さないこと。